

滝沢村RMC(ラジ  
オメディカルセンタ  
ー)にあるドラム缶約  
8千本の医療用放射性  
廃棄物が、一般ごみ扱  
いにされ、産廃処分場  
に埋め立てられること  
になりそうだ。

放射性物質で汚染さ  
れた廃棄物について  
「自然界の放射線レ  
ベルと比較して十分小  
さく、人の健康への影  
響が無視できるもの」  
を規制からはずし「放  
射性廃棄物として取り  
扱ふ必要があるもの」と  
する法案が、4月30日  
に参議院を通過した。  
この法案は「クリアラ

日 報 論 壇

放射性廃棄物の危険懸念

永田 文夫

「放射性廃棄物の危険懸念」  
取り扱い事業所への立  
国の審議委員は、その  
ち入り検査で廃棄物の  
ほとんどが廃棄物発生  
保管や使用・廃棄の記  
事業所や関連機関の代  
表者である。  
4〜5割で見つかった  
新たな知見があった  
如、放射性廃棄物を一  
般ごみ扱いにしてしま  
は、全国で業所で法違反があった  
99年度には約8割の事  
業所で法違反があった  
業所では約8割の事  
業所で法違反があった  
業所では約8割の事  
業所で法違反があった

ドラム缶約  
25万本分た  
る。

おうとする動きは、業  
界のコスト優先のご都  
合主義だ。以下問題点  
を上げる。

「放射性廃棄物」の数  
は「危険性がない」  
としてごみ扱いになる  
に集荷され、焼却処理  
されたものなどが今、  
埋め立てられようとし  
ている。  
1990年に東大病  
院等で放射性物質が地  
面に埋められていた。  
制度案にかかわった  
のようにして「放射能  
67歳)